【特別講演】
人口減少時代の処方箋

日本創成会議　座長
東京大学公共政策大学院　客員教授
増田寛也

キーワード

人口減少

縮小社会

地方創生

講演概要

日本創成会議が昨年公表した「消滅可能性都市896リスト」は、各方面で取り上げられ、政府も内閣官房に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置、はじめて2060年に1億人という人口目標を設定した。全国の自治体には今年度、地方版人口ビジョン、総合戦略策定が努力義務化されている。人口減少は、取り組みが５年遅れると将来人口が３００万人減少する。今すぐ取りかからなければならない課題である。

地方創生にとって重要なことは、地域における若者に魅力あるしごとの創出、地方への新しい人の流れの促進、結婚・出産・子育てのしやすい環境の整備、「コンパクト化」「小さな拠点」といった新しい時代に沿ったまちづくりである。こうした対策の検討にあたっては、まず人口動態や地域資源の見える化が出発点である。行政、産業界、金融機関、大学などあらゆる地域関係者がデータを共有し、縮小社会への賢い対策について活発な議論を行うことが求められる。